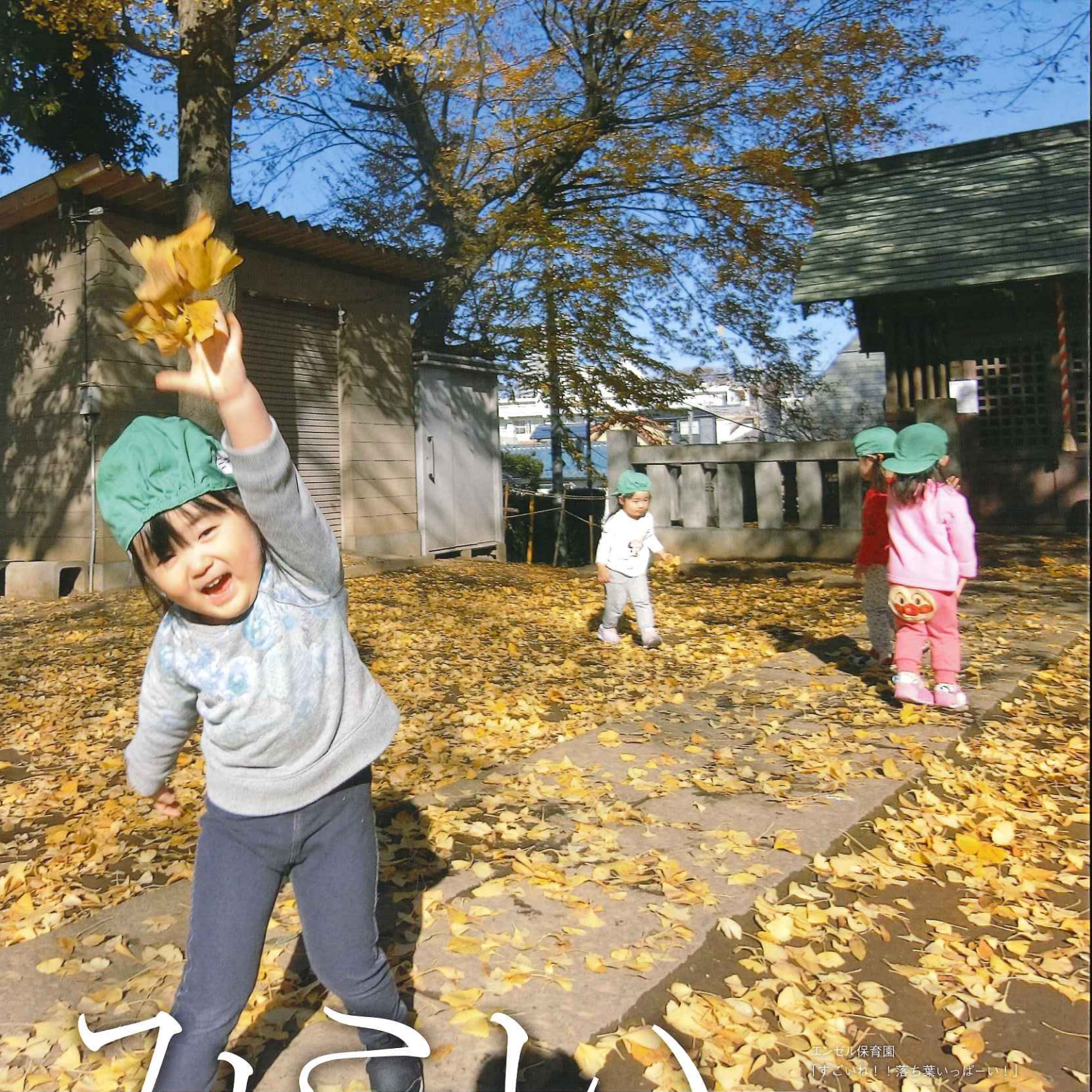




エンゼル保育園
「すごいね!! 落ち葉いっぱい!」

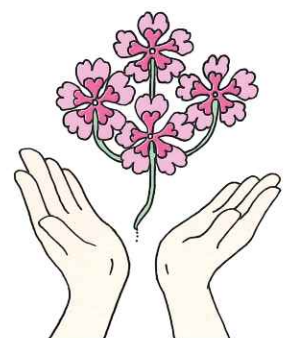
みらい

2019.2 (20)

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

平成30年度 協会主催の研修報告 …P2～5
 予算対策部…P6 食育部主催調理講習会の報告…P7
 調査研究部より／雇用対策部活動報告／定例会 研修会報告…P8
 わくわくがいっぱい!／編集後記…P9
 保育園紹介…P10



保健衛生情報交流会

日程	場所	参加人数	研修内容
①6/5(火) 14:00～16:00	武蔵浦和 コミュニティ センター	36名	『保健年間計画について』 『グループワーク』
②11/8(木) 14:00～16:00	あいぱれっと	40名	講師：鈴木雅子先生 『小児の感染症について』 『情報交流会』



【第1回目】(通算第31回目)

議題1. 保健指導計画のポイント 講師：遊美保育園看護師 高橋先生

保健計画作成の手順

- ①保健計画に必要な情報収集と資料の作成-子どもの成育・病の把握
- ②保健計画目標の設定-安全に過ごせる環境づくり
- ③保健活動内容の設定-園児の健康状態の把握・環境衛生づくり
- ④関係機関との連絡・調整-感染症情報・園医との連絡・小学校との連携
- ⑤保健計画の決定-前年度の保健計画、問題・改善点・職員の意見を聞く

- ⑥実践-健康教育をいつ、どのような形で行なうか、園行事・保育カリキュラムに位置付けする
- ⑦評価・分析のための記録の整理-「子どもの声」「職員の声」として記録する
- ⑧評価をもとに計画の改善-保育士からの情報が大事
- ⑨評価から再計画-1年間の評価に基づき、次年度につなげる
- ⑩保健年間計画を立てた後、保健指導年間計画をたてる
※資料参照する

議題2. グループ討議

- ①与薬について、各園での対応やヒヤリハットなどの情報共有を行なった。
 - ・事務室管理、部屋管理、ランチルームで保管等
 - ・与薬忘れもあり←タイマーをつける
 - ・投薬した後、空袋を入れておく
 - ・制吐剤、解熱剤は飲ませない
 - ・5園中4園、看護師でないと飲ませない、主任以外飲ませない
 - ・溶連菌の抗生物質等、特別なもの以外は基本的与薬なし
 - ・管理場所は事務室、各保育室(手のとどかない所) 一与薬忘れあり
 - ・点眼は看護師が行う
 - ・与薬票に薬名、病名等記入してもらい、与薬したらサインして返す
 - ・制吐薬を持参した→帰ってもらった
 - ・解熱、鎮静剤を持ってきた→登園は受け入れたが、保護者に説明した

- ・ダイアアップは受けない→「〇〇したら」というのは、どの職員にも対応するのが難しいため
- ・頓服は受け取らない
- ・ダイアアップ座薬預かっている園 5園中4園
- ・看護師でないと入れられないのは1園のみ
- ・時間指定の与薬は受け入れない
- ・2包あるのに、1包しか飲ませない事があった

- ②各園の感染症報告を行い、どの地域でどのような感染症が流行しているか情報共有を行なった。
4月～5月にかけ、溶連菌感染症、ウイルス性胃腸炎、アデノウイルスの流行が目立った。また、各園数名ではあるが、突発性発疹、クレーブ症候群、ヒトメタニューモウイルス、インフルエンザA型、リンゴ病、プール熱、带状疱疹、RSウイルス、結膜咽喉炎、川崎病、O-18に罹患した園児について情報共有を行なった。

【第2回目】(通算第32回目)

埼玉医科大学病院小児救急認定看護師 鈴木雅子先生を講師にお招きして、小児の感染症やグループディスカッション等を行い、大変貴重な学びの時間となりました。

自然体験講座

日程	場所	参加人数	研修内容
①6/13(水) 13:30～16:30	北本自然学習 センター	私立17名、 公立22名	保育者が日々の喧騒から離れて自然の中で遊び、座学の中から明日の保育に繋がるアイデアを学びます
②9/12(水) 13:30～16:30		私立14名、 公立20名	
③12/5(水) 13:30～16:30		私立18名、 公立19名	



保育士のための自然体験講座アンケート結果(平成30年12月5日より)

●アンケート結果(公立、私立)参加数37名の内 初めて参加30名、2回・3回目以上の参加7名

初めて参加・先生のアンケート

- 外での散策も製作もあったという間に感じるほど楽しい時間でした。色・におい・音・手触りなど5感を使って楽しめることを実際に経験でき自分の園でも子どもたちと自然をみつけ楽しみたい。
- ただ歩くのでもいい刺激になる事が分かった。「探す」ということがこんなにも没頭できること、葉っぱのにおいとか事に気づき感動した。グルーガンやボンドがあると更に楽しめると思った。
- 講師の先生のトークも分かりやすくユーモアがあり、リフレッシュできました。自然を楽しみたいと思います。又参加します。
- 自然に触れる気持ちよさ、楽しさを感じられました。
- 葉っぱの匂いやカラスワリの種、様々なものの不思議を知りました。
- 自然の中でのあそび方、自然を使っての楽しい工作時間でした。子どもたちにも体験させたいと思いました。
- 堅く考えず音や匂いなどを見つける散歩に行ってみたいと思いました。
- 落ち葉が沢山ある時期なので集めたり、ちぎったりしながら自然と関われるようにしたいです。
- 知識が少なくとも音や視覚、触り心地などで楽しめた。
- 生命の不思議なども直接触れてみないと学ぶ事ができない
- ので子どもたちには様々な経験をして欲しいと思いました。
- 葉っぱジャンケンが面白かった。季節に合わせて受講したいと思いました。
- 蛇やカナヘビに触ったり、貴重な体験でした。
- 次回も外でのあそびを体験したいです。
- 今までも葉っぱの色を伝えたり、ダンゴムシと一緒に見たりしましたが、これからは笑顔で一緒に楽しみ、又自然の中で育っていく子どもたちを応援していきたいです。
- 1歳児担任なので何に挑戦するときも保育士からということなので、地面にいる虫よりも手にいる方が子どもが触りやすいということが分かりました。
- 玩具もなくとも自然物だけで様々な感覚を刺激しながら遊ぶことができると再確認できました。
- 子どもと遊ぶ事の大切さを心から学べました。
- 外に出るだけでなく葉っぱの裏木の幹窓のサッシ等虫がどこにいるか知ることができました。虫が好きな子が多いので今日学んだことを積極的に活用したい。
- 園庭にもクモがいるが危なくないと知り参考になった。子どもたちと一緒に観察するなど貴重な体験に繋がってほしい。

《1～2回目参加・先生のアンケート》

- 机のスペースがもう少し欲しい。
- 草花や公園に植えてあるもの、生き物の知識がもっと欲しいのでレクチャーをお願いします。
- 作った作品を発表する時間があれば盛り上がるのではと、思
- いました。ツルでこんな本格的なリースを作れるとは思わなかった。葉っぱに穴あけは、子どもたちとやってみます。
- 自然にどのように触れ合っていたら良いのか分からなかったので様々な触れ合いを知ることが出来て良かった。

《3回目以上参加・先生のアンケート》

- 製作の色々なアイデアや作品例があれば知りたい。
- 自然観察公園をもう少し周りたかった。久しぶりに参加して5感を使って遊ぶ大切さを改めて感じました。

- 主任としての在り方、スキルの上げ方、リーダーシップ
- 人の動かし方、ベテラン保育士との接し方
- 同僚性について
- 実践における保育の方向性
- 職員育成、個々に合わせた指導の仕方
- 具体的に即実践できる、できれば即結果につながる物
- 人間関係の築き方、大切さ

- きれいごとではない裏の部分も共有したい
- 心の保ち方
- 園内研修の進め方
- 同じ立場の先生と話し合う機会が大切
- 気になる子への対応
- 仕事量が多いのでいかに要領よく進めるか

小林宏繁先生の研修を終えてのアンケート

- 悩んでいるのは自分だけではないと共感できた。
- 自分に足りない部分（会話の未熟さ、忙しさから十分な対話が欠けていたなど）に気付くことが出来た。
- 人間関係が良好にいくためのヒントになった。
- リーダーとしての役割、求められる仕事を再度学ぶことが出来た。
- 先生の優しい語りや口調がとても安心感があった。自分も優しく話したいと思った。
- 意見交換しやすい付箋や模造紙を使ったワークは園内研修でも取り入れていきたい。
- 他園との情報共有の場がほしい。
- 副主任、リーダー保育士にも聞いてもらいたい内容だった。
- パワーポイントをもう少し長く出してもらえるとメモを取りやすい。

具体的に得た学び

- 傾聴のポイント→聞くだけではないということ。相手を理解する材料が増える。
- 対話力、価値観→自分の価値観を捨てて相手と対話すること。自分の意見を押し付けない。大人だけではなく子どもにも通じると思った。
- いつもの自分は感情で話していた。相手を理解している気になっていたことに気付いた。
- 人間関係の作り方（相手の話を聞き、共感すること）
- 自分の話を伝えることに苦手意識があったので、対話の4つのポイントを意識したい。
- 自分の中の困り、迷いを振り返ることが出来た。

- 一人ひとり解釈や価値観が違うことを理解する。
- 傾聴の3つのポイント（うなずいてもらい嬉しかったので実践したい）
- メンタルモデル
- 日々の対話の実践→まずは多くの職員に声をかけ自分から踏み込んでいきたい。相手をもっとよく知る機会を作りたい。
- 難しく感じたが、園の中の縦社会の中にもフラットな関係を持ち、たくさんの意見を聞きだせるようにしたい。
- 保育士の意見を冷静に聞き、自己コントロールすることの大切さを感じた。
- 自分の価値観から出て、相手を理解するよう努める。
- 対話の4つのポイントを心に留めたい。実践して失敗して身につけていきたい。
- 評価、判断を保留する。
- 自分のものさしで相手を見ない。良いところを拾い出し、その中からその人を活かす方法を見出し、より良い保育へとつなげていきたい。
- 自分と違う価値観、違和感のある人とはチャンスと捉え、積極的に対話してみたい。チーム保育をしていきたい。
- 順序立てて話していくことの大切さを知った。（意見・感情・経験・価値観）冷静さを身に付けたい。
- 対話力、傾聴、受容すること。
- 伝言ゲームを園内研修でも取り入れたい。（報告・連絡・相談）
- 苦手な人と話すときは口角を上げてみる。

その他、部としての手伝い

	日程	場所	参加園	研修内容
さいたま市 保育士等研修会	11/17(土) 9:30～11:40	さいたま市民会館 うらわ	猪熊弘子先生『組織が事故を引き起こす～保育の安全と子どもの発達保障のために知っておきたいこと～』	
	H31/2/16(土) 9:30～11:40	さいたま市民会館 うらわ	寺田清美先生『乳児保育の大切なポイントについて～指針・要領の改訂を踏まえて～』	
さいたま市 保育研究大会 (実践発表)	①10/25(木) 18:30～	西部文化センター	まみ保育園	「夢中になれる」を生み出す環境づくり
	②10/30(火) 18:30～	コムナーレ	ふたば夢保育園	「体を動かすって楽しい！」～運動遊びから育む力～
	③11/6(火) 18:30～	コムナーレ	大宮つばみ保育園	慣らし保育と保護者支援
	④11/15(木) 18:30～	コムナーレ	かわいデイナーズリー保育園	じょうぶな心と身体を育む
	⑤11/22(木) 18:30～	コムナーレ	もとの木保育園	課題のある遊びから育つもの ～私達と身の回りの世界を知る～
	⑥H31/1/26(土)	さいたま市民会館 おおみや	与野ひなどり保育園	子どもたちが考えて活動する キラキラ選択保育 ～自立と自律を目指して～

主任研修

日程	場所	参加人数	研修内容
①8/6月 13:00～17:00	あい ぱれっと	30名	情報交流会『自分も園も輝くために ～リーダーの意識で園が変わる～』
②10/22月 13:00～17:00		35名	講師：小林宏繁先生『始めてみませ んか！1on1での信頼づくり』
③12/17月 13:00～17:00		33名	講師：小林宏繁先生『皆が笑顔になっ ちゃうリーダーシップ～今やれば春には笑 顔が満開に～』



第1回目情報交流会のアンケートより

- 他園の話を聞く事ができ同じ悩みや葛藤があり、自分一人ではないと気付いた。(10名)
 - 他の先生たちにとって大切な存在と改めて感じた。
 - 保育園毎に違う悩みがあり学びや励みになった。(5名)
 - 指導方法・会議の進行・内容が園で活かせるものが多かった。(3名)
 - 同じ立場の人と話す機会になって良かった。(6名)
 - グループワーク・話し合い・発表と主体的な研修で有意義な時間になった。
 - 主任の仕事が明確になった。
 - 自園の良さを改めて感じた。
 - この会を振り返り、「主任」として得られたものはありますか。
 - 主任の難しさ・役割を話し合えた。(9名)
 - 他園のプールの指導法を知ることができた。
 - コミュニケーション等悩みが一緒だった。(2名)
 - 中立の立場で伝える。(2名)
 - 人間関係の大切さ。(3名)
 - 全体を見通す力の大切さ。
 - コミュニケーションの大切さ・捉え方。(8名)
 - 保護者対応
 - 縁の下での力持ちという存在
 - 保育士の都合で保育を流さず、常に子どもが主であることを大切にする。
 - 職員の声を聞きだし悩みを共有する。
 - いろいろ学んだ事が今後の課題になった。
 - 園内研修の手法
 - 「主任」と「保育士」の両立が難しい。
 - 心も身体も体力維持が大切
 - 園全体の「柱」「安全基地」である。(2名)
 - オールマイティな存在(2名)
 - 副主任の起動で園全体が動いていくこと。
- 今年度は、3回の主任研修を予定しています。第2回目と第3回目は講師の先生をお招きして行う予定です。「どのような研修内容」を希望しますか。
- 行事等職員への伝え方について
 - 保護者対応、実際の保護者のクレーム対応
 - 人材確保、人員不足の解消

保育園見学会

日程	場所	参加人数	研修内容
H31年2月19日(火) 9:45～12:00	うらわライトハウス 保育園	20名	子どもの主体性を大切にした保育とは、特色のある保育園の見学を通して様々な学びや気づきがありました

うらわライトハウス保育園の関口園長先生より

「平成29年1月に新園舎での保育がスタートしました。園庭がない保育園として園の外に出て行くことが子どもたちの日常です。様々な経験を通して子どもたちの生きる力を育み、異年齢での関わりやゾーンでの遊びを通して、子どもたちの主体性あ

る保育を実践しています」
公開保育、見学研修を通して、それぞれの施設や保育の工夫など、各園での参考にして互いに学べる機会となりました。

予算対策部

平成31年度予算要望について

平成30年9月27日 さいたま市役所にて、さいたま市長の清水様に以下のように平成31年度の予算要望を提出し、協会役員から要望についての説明を行いました。保育園が抱えている課題について直接訴えかけ、清水市長も私たちの声に耳を傾け、さいたま市の保育について有意義な意見交換の場とすることができました。

子どもの権利保障に関する事項

- 子どもの権利を保障するための豊かな環境作りを進めて下さい。

待機児解消に関する事項

- 待機児解消に向けては、認可保育所の整備で適正な量の拡充を図って下さい。

保育士の処遇改善に関する事項

- 現行制度における、職員雇用対策補助事業並びに職員処遇改善費補助事業の増額を検討して下さい。
- 近隣他市並びに東京都の給与実態・処遇に関する状況を調査し、格差がないよう是正して下さい。
- 公私間の給与等の処遇格差を是正して下さい。
- 人員配置数を改善(人手不足の改善)して下さい。
- 保育業務の省力化を進めるための必要な措置を講じて下さい。

借地料に関する事項

- 借地を利用した保育所の賃借料について、検討を進めて下さい。

保育の質の向上に関する事項

- 施設の面積や保育士の人数などの基準を堅持し、現行における市単独補助の維持、向上の検討を進めて下さい。
- 保育の質の定義についてのガイドライン作りを進めて下さい。

- 保育士確保に関する効果的な支援策を講じて下さい。
- 栄養士1人を雇用し、アレルギー児への対応や、栄養・給食業務を充実させ、安心で安全な給食が子どもたちに提供できるよう、補助金を増額して下さい。
- 看護師雇用について助成して下さい。
- 障がい児保育の加配職員の増員、保育士以外の人材も充てることが出来る等の柔軟な対応を検討して下さい。
- 研修事業に関する代替職員を確保する為の措置を講じて下さい。
- さいたま市私立保育園協会に関する研修補助費を増額して下さい。

保育行政に関する事項

- 新たな制度創設や保育制度の改正などに対しましては、施設へ分かりやすい丁寧な行政説明をして下さい。

その他

- 保育所の土地を賃借する場合の固定資産税の減免について、検討を進めて下さい。



また、今年度は特に会員園の皆様からの声をもとに、以下3点について最重点項目として要望しました。

- | | |
|----------|-------------------------|
| 一、処遇の改善 | 現行制度の拡充・運営人員に係わる拡充 |
| 一、借地料の補助 | 借地に対する補助の創出 |
| 一、看護師配置 | 安全な保育環境の実現に向けた看護師の確実な配置 |

引き続き平成31年度からの保育の環境が深まるよう、努力して参ります。

平成32年度予算要望に向けて

予算対策部では、来年度の制度改革を踏まえ平成32年度予算要望について検討を進めております。平成31年度は「幼児教育の無償化」にともない制度が大きく変わります。現時点では、国の議論の行方を見守っておりますが、議論のプロセスを見ますと、保育園の3歳児以上の副食費の取り扱いなど、注視していく必要があるかと思います。詳しくは、内閣府のHPにも掲載されておりますのでご覧ください。

引き続きさいたま市の保育について議論し、よりよい保育環境を目指して検討を進めて参ります。ご意見・ご要望よろしくお願いいたします。

内閣府HP: <https://www8.cao.go.jp/shoushi/index.html>

地場産物を使った和食給食の献立

食育部主催調理講習会の報告



埼玉県の食育推進の取り組みである「平成30年度埼玉県農産物の魅力再発見食育推進事業」の補助金を受けて、今年度食育部では「地場産物を使った和食給食の献立の普及」に取り組みました。毎年、調理講習会は年に1回の開催となっておりますが、今年度は9月19日(水)と1月30日(水)に2回実施しました。

その際には、さいたま市緑区で農業を営まれている若谷茂夫さん(さいたま市農業委員会会長)に、その日の朝に収穫した小松菜をお持ちいただき、また農業に関する様々な話をお聴きすることもできました。たくさんの人の手を掛け手間を掛け、自然災害に左右されながらもたくましく立派に成長し、収穫された小松菜を手にした各保育園の栄養士等の先生方からは、「生産者の方の、良いものを作って届けたいという思いを聞き、食材を大切にしながら調理をし、子どもたちに 安心・安全な給食を提供していきたいと改めて思いました」といった貴重な意見を伺うことができました。

9月に実施した調理講習会での「豆腐入り白玉鶏だんご葛あんかけ」のレシピをご紹介します。

豆腐入り白玉鶏だんご葛あんかけ

材 料 (6人分)

鶏ひき肉	120 g
深谷ねぎ	30 g
しめじ	40 g
塩	1 g
人参	25 g
小松菜	25 g
片栗粉	18 g
卸生姜	1かけ
白玉粉	120 g
絹ごし豆腐	150 g
出汁	2カップ
塩	2 g
醤油	6 g
水溶き片栗粉	大さじ1杯

作り方

- ①ねぎは青みも一緒にみじん切りにします。
- ②しめじは荒みじん切りにし塩を振りしばらく置いておきます。
- ③人参は7cmの長さの細切りを12本作り茹で、残りはみじん切りにします。
(今回は、もみじ型、銀杏型で抜き、茹で、残りはみじん切りにしました)
- ④小松菜も茹でて茎の部分は人参と同じ長さに切ります。
- ⑤ボールに鶏ひき肉を入れ、ねぎ、水気を絞ったしめじ、人参のみじん切り、片栗粉を入れてよく練り6等分のだんごにしておきます。
- ⑥別のボールに④を混ぜ6等分にし、平らに延ばし⑤の鶏だんごを包みます。
- ⑦湯を沸かし⑥を10分間茹でます。
- ⑧鍋に出汁、塩、醤油を入れ味を整え水溶き片栗粉でとろみをつけます。
- ⑨椀の下に小松菜を敷きその上に⑦を盛り⑧の銀あんを注ぎます。上に人参と小松菜の細切りをのせ卸生姜を吸い口にしていただきます。



※レシピ提供 あおぞらウィングルム保育園 大野智子園長

調査研究部より

会員の皆様からいただいた『実態調査』『保育園での現状や今後の保育のあり方』をもとに医療ケア児についてのご意見・ご要望をまとめさせていただきました

- 加配の人数を増やし資格の幅を広げてほしい(保育士以外も認めてほしい)
- 入園当初は気になる子でも園生活をしていくなかで病名がついてくる子もいる中で看護師の必要性は不可欠である
- レット症候群のような病気をもった園児は今現在は医療行為がなくても生命にかかわる危険性が他児よりも高いことを考えてほしい。その結果保育園にたびたび救急車が来ることは一般的に考えられないでんかんだったり、けいれんだったり救急車を呼んでいたら「あの園は」と思われてしまう。救急車を呼ぶ事態になる前に症状を把握しておくことが大事であり、そのためにも看護師は絶対に必要である
- 園に2名の看護師を保育士と同様に認めてもらいたい。看護師の一人がお休みした時のことを考えるともう一人看護師がいることが子どもたちの安全が守られるため必要である。そのためにも看護師を雇用するにあたり補助金を考えてほしい。

調査研究部では今後も施設長の方や現場の保育士の方々の悩みや疑問を私たちにいただき調査し安心安全な保育が保たれ行えるようにお手伝いさせていただきたいと思っております。今後もご協力をお願いいたします

雇用対策部活動報告

平成30年度に雇用対策部では就職説明会を7月28日(土)、9月8日(土)、10月28日(日)、12月8日(土)に開催いたしました。参加園は私立保育園協会118園中、21園参加でした。来場者数は延べ59人でした。そのうち10人が就職につながりました。今年度の就職説明会の広報活動は養成学校にポスターやチラシを持参や郵送、福祉人材センターのDMさい



たま市保育課の地方の学生へのPR活動を行っていただきましたが、来場者が少ない結果に終わりました。しかし、来場者からは、「丁寧な案内や説明がよかった」「さいたま市内の保育園だけなので探しやすい」などの好評な感想をいただきました。

平成31年度は春先から、さいたま市私立保育園を知っていただけるように、ホームページの活用やPR活動、イベントにも取り組み、学生や潜在保育士に来場していただけるように努力していきたいと考えております。ご協力お願い致します。

定例会 研修会報告

①8月23日(木)

子ども家庭総合センターにてNPO法人子どもすこやかサポートネットの田沢茂之先生を講師にお招きし研修会を行いました。「子どもの権利と暴力防止、保育所が果たす役割」をテーマに体罰等のない育児を推進する為に、人権原則と子どもの権利4原則、子どもの権利条約や改正児童福祉法、子どもへの暴力防止に関わる最近の動向、体罰等の現状について学びました。

日々子ども達と関わる私達一人ひとりが虐待を行わないはもちろんのこと、各園で積極的に園内研修を行い保護者への意識啓発を続けることが大切です。保護者に向けて、また園内研修の資料として当協会は「叩かない子育て推奨パンフレット」を発行しています。(2016年)ご興味のある方はぜひ協会事務局までお問い合わせください。



②10月18日(木)

子ども家庭総合センターにて元消防庁長官の青木信之氏を講師にお招きし「これからの危機管理・防災～子どもの命を守る。最近の災害事例を踏まえて」をテーマに研修会を行いました。最近の主な自然災害を事例に経験に基づいた貴重なお話を聞かせていただきました。

災害はいつどこで起こるか分かりません。「私達は大丈夫」ではなく常にどこでも起きうという意識と備えが必要です。特に緊急時の対応はシンプルにルール化しておく必要がありますし何かあった時に支えてくれる地域の方との日頃からの関係づくりも大切です。

各園でもハザードマップを参考にし各園の防災マップの整備をお願いします。



わくわくが いっぱい!

ふたば夢保育園

干すと甘くなるって不思議だね



園のお隣の民家から「干し柿にするといいよ」と、渋柿をたくさんいただきました。保育園に干し柿がある風景は、子どもたちの好奇心をそそるとともに、保護者からは「ほっこりする」と言われ、日頃の育児や仕事の疲れからひととき解放される、そんなおだやかな原風景となりました。

いちご桜保育園

どうぞ召し上がれ!



落ち葉を集めていたお友だち。「ごはんよ! たべて!」とお裾分けしてくれました。

与野本町駅前保育所

はっけよいのこった!



3・5歳児が大きな体のおすもうさんに立ち向かっていきました。あっという間に押し出し・・・。今度こそは!!と立ち上がった4歳児。負けたお友だちの想いを背負っていざ勝負です。お友だちの声援も背中を押し、全員の力でおすもうさんを押し出すことができました。

みずほ保育園大宮天沼

保育園交流チャレンジカップ!



毎年開催されている保育園交流チャレンジカップに初めて参加させていただきました!会場はなんと埼玉スタジアム!参加チームが多くなったため2日間にわたっての開催でした。1点取ることを目標に一生懸命にボールを追いかけてくれましたが、それは来年のお楽しみに…。素敵な会場とたくさんの園のお友だちに驚きながらもサッカーを通じた交流を楽しんでいる様子でした。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

早いもので今年度も残すところひと月半となりました。新年度に向けて、会議やら何やらと慌ただしい中、この冬は「焚き火会」と称して園庭で火を起こし、「ふろふき大根大会」や「ねぎ焼き大会」を行いました。子どもたちとあつたかい火を囲みながらおいしいものを食べてひと時の安らぎをいただき、パワー充電!なんとか乗り切れそうです…

広報部 相原 由佳子

編集後記

6月より協会の事務員をしております。勤務時間は10時～15時となっております。子どもの学校行事等でお休みをいただくこともございますが、一生懸命やらせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



鹿野良子さん

保・育・園・紹・介



彩の森保育園



園長 和田 卓樹

彩の森保育園は平成24年に開園しました。まだまだ歴史の浅い保育園ですが、保護者、地域の皆様に支えられ今年で7年目を迎えます。

開園に至るにあたり、同意をいただくために何度も近隣宅を訪問し、要望に応えながらなんとかご理解を得て、開園を迎えました。同意をしてくださった近隣の皆様のお気持ちにお応えするためにも、地域の方々に喜んでいただける保育園として努めてまいります。

純粋な子どもたちにとって毎日が探検です。新しい発見、出会いの連続の中で好きなことや興味あるものを見つけ、それは一人ひとり千差万別ですが、何がきっかけになるかわからないからこそ、できる限りたくさんの実体験の場を作り、間接的に子どもたちが学びにつなげていけるような環境作りを目指しています。

子どもたちが自ら知ろう、学ぼうとする姿勢を尊重し、教育という概念に固執するのではなく、自分の力で進む子どもたちを支えてあげることが大切だと考えています。気持ちを引き出すことに比べれば、答えを教えることは簡単ですが、生きる力は自分で育むものと捉えています。子どもたちに声をかけすぎたり、手を出しがちですが、保育士は子どもを信じて見守っています。子ども自身で発見したこと、学んだことが財産と考え、彩の森保育園では十人十色(彩り)の個性と人と人の絆を大切にし、保育を進めています。



えがお保育園



園長 島村 和宏

えがお保育園は平成24年に開園した90名定員の保育園です。

保育理念は子ども達、保護者の皆さん、私達(職員)、地域の皆さん、みんなにとって大切な場所であり続けたいという願いとみんなが対等で平等であるという方針から「子ども一人ひとりを大切に、保護者の気持ちに寄り添い、職員は明るく、地域に開かれた施設を目指します」としています。日々の保育は遊びと生活が中心となっていて、①異年齢保育 ②チーム保育 ③選択制の保育が主な特色となっています。

子ども達の主体性を育む為に「みんなで考え、みんなでつくる」ことを大切にしています。

例えば園の行事の内容等を大人が全て決めてしまうのではなく、子ども達と話し合いながら決めたり、園の生活の中でも子ども達に頼んだり、任せたり、お願いしたりする機会を多く持つようにしています。園内の保育環境は木造の雰囲気を生かした「大きな家」をイメージしています。その為子ども達と私達の関係は「家族」のように「自然体」であることを基本としています。園内には子育て支援センターも併設している為、地域の方にも大勢利用して頂いています。

子ども達には子どもらしく、その子らしく園で過ごしてもらいたいと思っています。そして遊びと生活とたくさんの人との関わりを通じて「自分が好きでみんなも好きで仲間と共に育ち合える」そんな大人になって欲しいと願い日々の保育を展開しています。

保育園は全ての子ども達が平等に愛され、健やかに育ち、社会で生き抜いていく為の基本となる力を身につける場所です。そして子どもも大人も共に育ち合う場です。

時代が変わり、制度が変わったとしても、その事は忘れずに1日1日を大切に、これからも「子ども一人ひとりを大切にした保育」を行いたいと考えています。



ゆうりん保育園

園長 柿澤 倫雄

ゆうりん保育園は、本園・分園ともJR宇都宮線土呂駅西口駅徒歩3分圏内という駅近でありながら、周辺に公園も多数存在し、自然豊かな落ち着いた環境にあります。

ゆうりん保育園では、子どもと保護者の皆様の目線にたち、子どもたちが保育士からふんだんな愛情を受けていると感じてもらえる「まごころ保育」の実践に努めています。保護者の皆さまとの連携をもとに、しつけ教育、情操教育、社会生活技術、専門教育をしっかりと進められるように保育内容の充実を図っています。

乳児クラスでは、十分な養護の行き届いた環境の中で、健康や安全など、日常生活に必要な基本的な習慣や態度を培えるようにしています。また、外部講師の先生を招いて、リトミックを導入、音楽やリズム遊びで楽しんでいます。

幼児クラスでは、子どもたちのまっすぐな心、清く美しい心、友だちを大切にする心等、こころの教育に取り組んでいます。子ども同士のかかわりが豊かになるように、そして、子どもたちが自由な遊びの中から創造性や感性が生まれ育っていく環境を設定する、ということ意識しながら保育士がかかわるようにしています。また、体力の向上や個性を伸ばしていけるように英語、空手、体操を導入しています。子どもたちが「やる気、根気強さ、積極性」を伸ばしながら、豊かで充実した保育園生活を過ごせるようにしています。

私たちは、人生の中で、著しい成長をとげる子どもたちをお預かりすることの重大さと責任を重く感じています。そのうえで、子どもたち一人ひとりの心を受けとめながら、個性と感性を伸ばし、保護者の皆様の子育てと就労支援をさせていただき保育活動を展開しています。



風渡野保育園

園長 山田 博昭

風渡野保育園は平成24年に社会福祉法人なかよし愛育会の第2園として見沼区に定員90で開園しました。今年度で開園7年目になり0歳から入園した園児が昨年度卒園しました。初めての6年間通っていただいた園児の卒園はとても感動しました。園の周りは高い建物はなく、いつも広い青空が見えて散歩、公園遊びと自然豊かな場所になります。園庭には遊具もたくさんありプランターで子供たちと一緒にナス、インゲン、オクラ等を栽培して食育として楽しんでいます。

保育目標は心身ともに健康な子を育てること。具体的には、

- 自然界、社会に適應する心身ともに丈夫な体づくり
- 自然を受け止め、見たもの、感じたものに感動する、目のキラキラした子ども
- 社会に向かって、胸を張って生きていく子ども

です。職員一同で協力し、そして保護者の方々と共に目標に向かって行きたいと思います。

また習い事、行事を通して保護者様に子どもたちの成長、努力している姿を見て頂き、これから子どもたちの心と体が一回りも二回り大きくなっていくように望んでいます。

いつも明るい笑顔と笑い声がたくさんの保育を目指しています。